

明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園「明日にむかって」編集委員会
発行日/2000年3月18日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

32号

戦後半世紀を過ぎ経済成長はバブルで壊れてしまいました。一挙にこれこれの喜びが噴き出し痛ましい事件も絶えない昨今です。これから日本は著しい少子化と高齢化の中で21世紀を迎えますが、長引く不況は職場に家庭に学校に、そして子どもたちの生活にもさまざまに影を落としています。中高年の自殺者が32,863人、1998年比34.7%増、その70%は男性とのこと。1日90人という数字には驚きます。経済問題と完全失業率と自殺。無関係ではないでしょう。交通事故に防止月間があるのに自殺予防は社会の取りくみが弱いと問題提起をしている方がありました。まったく同感です。石原都知事は「心の東京革命」推進に向けて案を発表。キャッチコピー（心の東京ルール）などを作成提案しています。その7つの呼びかけを紹介しましょう。毎日きちんとあいさつせよ・他人の子どもを叱らなす・子どもに手伝いをさせよ・ねだる子どもにがまんさせよ・先人や目上の人を敬う心を育てよ・体験の中で子どもをきたえよ・子どもにその日のことを報告させよ・さて、いかがでしょうか。私は主権者である子どもたちの優しさ、あたたかさを感じることができないのですが。(H・N)

春を呼ぶ節分のつどい—2月3日

「泣く子はいないかー」
「いじわるはいないかー」
子どもたちはドッキリ!



1月末

陽光保育園

スナップショット

冬

拡大版

陽光保育園では、新年餅つき、節分、ひな祭り、七夕祭、お月見、七五三など、日本に昔から伝わる年中行事を保育のなかにとり入れています。「節分のつどい」もそのひとつ。日本人のなかに溶けこんできた年中行事は、生活の知恵や願いや楽しみがあり、子どもたちの生きる力につながるものがたくさんつまっています。保育のなかで大切にしているひとときです。

もうすぐ卒園

かもしか組のとりのくみ



上: 2月16日、卒園前の最後のハイキングは官ノ倉山へ。頂上で記念撮影

左上: 文字をもたない就学前の子どもたちは絵を描いて表現します。保育者は子どもたちの思いをていねいに聞きとり、記録します

左: 5歳児は0歳児の食事のお手伝いもします

前日



牛乳パックに色紙を貼ったり(2・3歳児)、シールを貼ったり(1歳児)して豆を入れる升を作ります(写真は2歳児)



2・3歳児は近所の家に竹をもらいにいきました



庭で炭をおこし、餅を焼き(5歳児)、給食のとき身だけ食べました



ワラも編み(5歳児)、イワシとワラで魔除けを作って準備OK!



豆まきの豆も庭でいりました(4歳児)

当日

2匹のオニがやってきました。「オニは外!」「福は内!」……



0歳児も保母に作ってもらった豆入れを首にかけ、節分のつどいに参加しました



サケの稚魚放流



2月11日、卒園児と在園児が入間川にサケの稚魚を放流に。帰ってくるというね

3歳児は動物公園へ



上: 2月15日、3歳児クラスは埼玉県子ども動物自然公園へ遠足。キリンさんをバックにハイチーズ!

左: この公園で子どもたちは乳しほりも初体験。しっかりしほれたかな?

親子でいっしょに遊ぼう

リズム、歌、砂あそび、散歩、赤ちゃん体操など

子どもたちがすこやかに育っていくためには、
・どんな環境が必要なのでしょう
・どんな遊びが大切なのでしょう
・どんな育て方をしたらよいのでしょう

私たちは、子どもを育てるなかでいろいろ悩んだり、考えたりしています。

でも、なかなか思うように、願うように、いかないものです。

保育園の仕事が少しでも地域の皆さんのお役に立てばと思い、このような企画をしてみました。お子さんと一緒に遊びにきてください。

〈対象〉 就学前の乳幼児(0歳児~5歳児) 参加費無料

〈時間〉 午前9時~11時

〈場所〉 陽光保育園 ☎3956-1068

※活動しやすい(あそびやすい)服装で、事前にご連絡のうえ、ご参加ください。

〈2000年度年間予定〉

5月10日(水) 6月7日(水) 7月4日(水)

9月6日(水) 10月17日(水) 11月8日(水)

12月11日(水) 1月16日(水) 2月15日(水)

=園児募集=

(2000年3月14日現在)

年齢	定員	募集
5歳児	18	1
4歳児	18	2
3歳児	15	0
2歳児	12	0
1歳児	10	1
0歳児	6	1
計	79人	5人

*お申し込みは板橋区保育課へ。申込書は当園にもあります。

◆陽光保育園後援会からのお知らせ
◎お花見
とき 4月2日(日) 11時~
場所 城北公園・茂呂遺跡そば
◎総会
とき 5月27日(土) 18時30分~
場所 陽光保育園ホール
*いづれも詳しくは陽光保育園まで

●地域共育講座
子どもとともに生きる
今回の地域共育講座は、1月21日、三上満さんをお迎えし、「子どもと生きる」と題して開かれました。教師時代のお話から現代の子育て論まで、魅力あふれる語り口にひきこまれた二時間でした。

平沢先生おかけりなさい
そしてやすらかにやすみください
12月15日、長い間帝京大学病院に献体されていた故平沢静子さん(元陽光保育園理事)のご遺体がだびにふされ、「平沢先生おかけりなさい」の会を開きました(写真)。4月9日(日)には、秩父やすらぎの丘に納骨します。納骨後、会食の席も用意しました。ご出席いただける方は、陽光保育園までご連絡ください。



陽光つ子はいま

高校生の巻



前号(31号)の「明日にむかって」では、陽光保育園を卒園し、いま中学生生活を送っている子どもたちの声を集めました。今回はその第2弾として、高校生四人に、それぞれの「いま」を書いてもらいました。「思春期」を乗り越えつつ「受験」という節目を通過してきた彼、彼女たちは、どんな思いを抱いて日々の生活を送っているのでしょうか。また、同年代でもすでに社会に出て頑張っている卒園児もいます。就職難をはじめ、先が見えにくい社会状況にあっても、自分らしさを大切に、主権者として生きていくことができるよう願っています。

卒業をひかえて

中村 奈津子

楽しかった高校生活が今幕を閉じようとしています。三年間、私は勉強や部活をやるでもなく、ただひたすら遊び続けました。

高校では大人になってもずっと友達でいたいと思える人とたくさん出会えてとても幸せでした。

その友達とは「どうやって授業をさぼろうか」とか「どうやって保健室で寝させてくれるだろうか」とか、そんなバカみたいな話で盛り上がりつつあったのです。試験の前は、徹夜ばかりですごく辛かったけど、今ではとてもいい思い出になっています。

しかしこんな私にも小学生の頃からの夢があります。それは保母になることです。陽光保育園に通っていた頃、私は及川先生に出会いました。及川ちゃんはいつも元気で、「奈津子!!」と叫んでいつもだきしめてくれました。及川ちゃんは忘れちゃったかもしれないけど、私はよく覚えてます。

サッカーに夢中

北原 翔

僕は、陽光保育園を卒園して、小学校、中学校、高校とサッカーをしています。陽光保育園時代に走って城北公園まで行ったり、いつも元氣よく遊んだりして、自然ときたえられた体力が、高校生になった今でも土台となり、サッカーに取り組んでいます。

サッカーとは11対11で試合をするスポーツであり、チームワークがとても大切です。個人がどれだけ上手でもチームワークがなければ勝てないし、個人の能力でおとっていてもチームワークが良ければ勝てる、そんなスポーツです。

それにサッカーは、ボール一つあれば他に道具を必要とせず、大勢で楽しめます。例えば、僕が修学旅行でオーストラリアに行った時のことでした。

高校について

清水 香

私は今、小石川高校に通っている。小石川高校は小学校や中学校と違い自由でも楽しい学校だ。勉強はともかく、部活もクラスも仲が良く楽しくて、今こんなに充実した高校生活を送れるのは一年前がなかったからだと思う。去年の今頃中三だった私は受験を目前に控えていた。私は推薦を受けるつもりだったけれど内申点がたりていないのは明らかだったので、多分落ちるだろうと思っていたら、やっぱり落ちた。でもはじめからそう思っ



いたせいかあまりショックではなかった。しかし、推薦に落ちたということが残るのは一般だけとなり、それなりに気合が入った。私立は二校受験するつもりだった。一校はどうでもよかったがもう一校は一応第二希望だった。その第二希望の学校の面接の時私は自分の受験番号を間違えてしまい、不合格を覚悟して落ち込んでいた。しかし、見事合格できたのだ。それがとてもうれしくて、その後の生活はげみになった。

私は高校を自分の性格と学力で決めた。自分の一番行きたいと思ったところが自分の学力に合っていた。こんな風にうまくいくのはなかなかないと思う。でも、自分の行きたい高校に行けない事もある。だからといって高校生活がつまらないわけではない。大事なことはこの高校に行くのかわく、そこで自分がどのような生活をするのかだ。自分の努力で高校は楽しくなる。



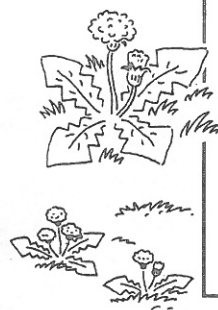
向こうの学校の人たちと話はあまり通じなくても、4人ぐらいでボールをけつていたら、一人また一人と集まって来て、とうとう15対15ぐらいで試合が始まってしまふなんてことがあり、少し驚きました。

このことから分かるように、サッカーは世界中で一番愛されているスポーツです。僕は、大人になってもサッカーを続けていきたいし、将来は、子供たちにサッカーを教える指導者になりたいと思っています。

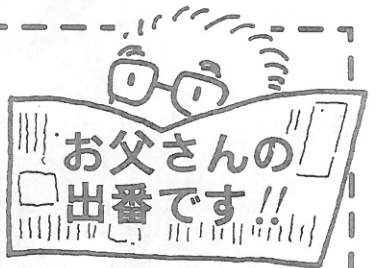
今、がんばっていること

鱒目 順介

僕の中学一年生と二年生の頃は、今思えばずいぶんやる気がなかったと思います。学校の決まりで必ずどこかの部活に入らなくては行けなかったもので、とりあえず運動部に入りました。でも、長くは続かないですぐにやめてしまい、その後も同じような事をしていました。夢中になれるものを探す気もなく、ただなんとなく生活しているだけでした。ところが三年生になって友達と音楽



雑誌を見ていて、「エレキベース」という楽器を知りました。エレキベースはギターよりも全体的に長くて低音が出る楽器です。音楽に少し興味があった僕は、このベースをはじめてみようかなと思いました。その時、偶然友達バンドを組もうとしていて、僕はそれに入りしました。やっぱり最初からうまくなるはずもないので、何とか練習してがんばりました。ある程度弾けるようになったら、つまらなかつた練習もだんだんとおもしろくなりました。そして、卒業の間に、下手ではありまし



親も子も一緒に楽しむ

私が陽光の扉をこじあげたのは今から十三年ほど前で、最初の子どもは初めてでもあり、子育てがわからないままに公立の保育園に預けてみました。公立の公立らしさに泣かされた感じの毎日でしたが、陽光保育園を知り、次の子(毛)が0歳児から入園することになり、途中、上の子(知)も転園し、二人とも陽光つ子になりました。保育園でまず驚かされたのは、砂場での水遊びでした。ドロ水まみれの園児たちがワイワイキャーキャーとはしゃいでいました。何という保育園かと、目からうろこ状態でした。

あれから十三年。私は、子供と一緒に色々な面で成長しました。陽光保育園での活動は、父母の会に始まり、子どもへのあわせを願う会、後援会の役員や保育園の行事への取り組みなど、私にとって掛け替えのない出来事になりました。その間に素晴らしい仲間たちと巡り会えたこと、私の人生観が変わったことについても思います。

そして、三番目(空)が入園。上の二人とは大分離れているせいか、あらためての子育てとなりました。しかし、三人目ともなると私の出番はあまりなく、ちょっとびりびりとした感じでした。

保育園に顔を出すのも途切れ途切れになり、大半は母親任せになってしまいました。そのころの出番といったら、後援会の役員会(会議後の飲み会が唯一の楽しみでした)、や年二回のバザーでのお好み焼きでした。このお好み焼きには、想い出があります。つらい修行時代があったからです(多くは語らず)。それがあからさまに今があり、お好み焼きに表れていると思います。

私には、好きなことがありません。それは、

「楽しくなければ広がらない。」

「何をやるうえでも(子育てや遊びでも)、楽しくやらないとつまらないし、輪は広がれません。ずっと長く続けていくためにも積極的に取り組んでいかないと長続きはしないと思います。」

子育てを考えると大切なことは、親も子も一緒に楽しくやることです。それが今、求められていることでもあります。子どもと同じことと一緒に笑うことが少なくなっているかもしれません。真剣に子ども話を聞いていますか。私も年頃の子どもを持って、つづつ「一緒に」ということの大切さを実感しています。まさに、今が出番、私の出番だと確信しています。陽光のお父さん、つらいけど、笑って、ガンバろう!!

(5歳児・涼の父 石巻 文雄)

陽光保育園後援会主催 陽光新春落語会



たが演奏もさせてもらいました。高校でも音楽は続けています。うまい人の演奏を聴くと、自分もうまくなりたいとますますがんばれます。一つの事をがんばると他の事もがんばれるような気がします。将来の夢はまだ漠然としています。音楽はずっと続けて、もっと知識を深めて、うまくなりたいです。



1月21日、陽光保育園のホールで開催された落語会。在園、卒園の子どもたちに父母、職員、そして地域の方々にも来ていただき賑わいました。写真は、鏡正二郎さんの太神楽



私もし及川ちゃんに出会ってない

かったらきつと保母になろうとは思わなかったと思います。私は及川ちゃんみたいにいつも笑顔で子供達を包みこんであげられるような、子供達の第二の母になれるように、これから専門学校に進学して、色々なことを学んでいきます。たくさん大変なことがあると思うけど、私は保母になることだけを考え、自分を最大限にいかせるようにがんばります。